**Engineering Reference作成マニュアル**

2022/1/17(月)赤司研究室修士2年（当時）　野村暁里

# はじめに

* スペースや（）は、半角・全角の設定に注意

グラフィカル ユーザー インターフェイス が含まれている画像

自動的に生成された説明

↑上記のマークをオンにすると、何が入っているか分かりやすい

* 「Ctrl+F」で検索、あるいは「Crtl+H」で置換を使うと文書全体の確認に便利  
  （半角・全角の違いを見つけるときは、オプションから、「あいまい検索」のチェックを外し、「半角と全角を区別する」にチェックを入れる）  
  用語とかは出来るだけ統一的に使用しよう

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, メール

自動的に生成された説明

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

* 使えるショートカットは使う。作業が早くなる。
* 「Ctrl+Shift+C」 書式のみコピー
* 「Shift+Enter」 同一の段落内で改行
* 改行には2種類ある  
  「Shift＋Enter」と「Enter」  
  違いはググってみて！番号書式とか箇条書きの時にShiftだと便利
* 項目の記号の大きさなどにも徹底してこだわる
* こんなふうに
* いろいろまざっていると
* 読みにくいので
* 文書内で
* 段落の大きさに応じて統一しよう

# モジュールの追加

## モジュール名

・スタイル…ホーム＞スタイル＞見出し1

|  |
| --- |
|  |

・番号づけ…番号ライブラリから数字＋.マークのものを選択して番号を付け…ホーム＞段落

|  |
| --- |
|  |

## 地の文

スタイル…「標準」

## 図・表・式

・挿入＞表で表を挿入、枠を透明にしてフレームを準備  
・図表番号を入れたいところをクリックしたら、  
　参考資料＞図表番号の挿入＞

|  |
| --- |
|  |

「ラベル」で、図はFigure、表はTable、式はEqを選択  
※クリックしてる場所とずれたことろに記載されることあり、そのときは切り取り（Ctrl+X）＋ペースト  
・エクセルやパワポは、windowsなら「拡張メタファイル」が綺麗でデータも軽め  
macなら「図」形式がおそらく無難

・表の左上の十字っぽいマークをクリックして表全体を選択した上でスタイルを「図表番号」にすると、字下げ無し＆中央揃えになる

## 引用

・図番号などを引用するときは、「参考資料」の「相互参照」を使用  
「相互参照の文字列」は「番号トラベルのみ」を選択。

|  |
| --- |
|  |

・参考文献は「参考資料」＞「引用文献の挿入」＞スタイル「ISO 690」を選択  
Google ScholorやGoogle BooksでコピーしてきたAPA方式のものをペースト。野村はいちいち区切って貼るのが面倒なので、「タイトル」のところにそのままペーストしていました。脚注とかで貼る方法もある、適宜直してね。

# おわりに

・図番号の更新  
ときどき更新やろう。「Ctrl+A」で図面番号の数字どれかを右クリック  
→フィールドの更新から図番号を更新

・目次とページ番号の更新

「目次の更新」で更新

テーブル

自動的に生成された説明

・図・表・式はいちいち書式設定が面倒。また、その度に全体の番号が更新されるため、挿入に時間もかかる。一度整えたらそれをどんどんコピペしよう。